

内科（血液・腎・感染症等専攻可）



内科部長
秋保 直樹

診療内容と実績

■腎疾患

慢性・急性糸球体腎炎をはじめ、急速進行性糸球体腎炎、ネフローゼ、腎不全、尿路感染症など腎疾患全般、膠原病などの全身性疾患による腎障害を診療しています。必要な症例にはエコーガイド下腎生検や、外科との連携により開放腎生検を施行しています。

本院の特性上、救急症例の急性血液浄化療法などに対応しており、持続的血液ろ過透析(CHDF)、エンドキシン吸着などを施行しています。また、他院での維持透析症例の当院他科での手術・検査中の透析時にも対応しています。

■血液疾患

悪性リンパ腫、多発性骨髄腫、白血病、骨髄異形成症候群(MDS)、再生不良性貧血、溶血性貧血など様々な血液疾患に対応しています。造血器腫瘍については、骨髄穿刺、骨髄生検、染色体遺伝子解析、細胞表面抗原解析をもとに最適なプロトコルを用いて化学療法を行うために、クリーンルームを4室備えております。

■その他

自己免疫疾患、不明熱、診療困難症例なども対応しています。

プログラムの目的と特徴

本プログラムは、内科認定医を取得するのみでなく、将来内科専門医資格を取得することを目標とし、内科医に求められる基本的な素地を確立するため、救急医療を含めた内科全般について幅広く対応できる臨床能力を身につけます。当科の専門分野は血液疾患、腎疾患、高血圧疾患で、加えて膠原病、凝固異常、内分泌疾患をはじめ、不明熱、診断困難例など症例が豊富です。このような内科領域の多様な疾患についてそれぞれの指導医の指導の下で検査、診断、治療を幅広く研修することが可能です。

また、希望によっては、腎、血液、感染症などおおまかな分野を絞った研修にも対応します。

研修内容と到達目標

■短期研修

一般内科に求められる診療手技、検査、症状、治療に習熟するための研修とともに内科的救急医療を深め、初期研修では不十分だった症例を担当する。

■1年研修

希望する領域の疾患を中心に、一般内科医として基本となる種々疾患の診断、治療の基本を習得するための研修を行う。

- ・内科領域の救急症例に対して、救命救急外来および病棟において適切な初療ができる
- ・EBMIに関する情報を取得できる
- ・外来診療を担当し経験する
- ・内科地方会で発表する

■2年研修

専攻希望分野の疾患を重点的に研修し、代表的病態・疾患を経験する。

- ・代表的な内科疾患の診断・治療ガイドラインを述べるができる
- ・外来診療を習得する
- ・初期臨床研修医を指導する能力を身に付ける
- ・骨髄穿刺、血液透析、気管支鏡など検査手技を適切に行う
- ・内科地方会あるいは関連学会で発表する